

## 愛臨技学術部研究班活動報告書

所属：病理細胞検査研究班 提出日：令和3年7月2日 報告者：吉本 尚子

行事種別	研究会	行事番号	200005456
開催日	令和3年5月15日(土)~28日(金)		
時間	開始	—	終了 —
場所	オンデマンド配信 (Web 録画)		
テーマ	病理検査の精度管理		
生涯教育履修点数	基礎教科 20 点 (レポート提出した会員にのみ付与)		
司会	公立陶生病院 柚木 浩良		
講師	<p>講演 1 : アミロイド染色の基礎 豊川市民病院 臨床検査科 山川 貴章</p> <p>講演 2 : アミロイド染色の検討 豊橋市民病院 中央臨床検査室 宮野 拓也</p> <p>講演 3 : プロセッシングの基礎 サクラファインテックジャパン(株) 営業本部 学術顧問 篠田 宏</p>		
内容	<p>「病理検査の精度管理」をテーマとして勉強会を企画し実施した。講演 1・2 では、日常業務で行う特殊染色のアミロイド染色について、染色の原理・染色法の基礎を解説した。また、アミロイド染色について実施した検討結果の報告と解説をした。講演 3 では、「プロセッシングの基礎」と題し、日常業務で毎日実施するプロセッシングの工程について、基礎的な内容を中心に講演していただいた。講演では、ルーチン業務で染色する頻度の高いアミロイド染色が取り上げられ参考になったという意見を多数いただいた。アミロイド染色も施設によって染色方法・使用液等の違いがあり、やはり染色の標準化は難しい面があると感じたが、有益な情報を広く提供できたと考えられた。</p>		
参加者	総数：125 名 (会員 125 名)		
共催、後援など	特になし		

## 愛臨技学術部研究班活動報告書

所属：病理細胞検査研究班 提出日：令和3年8月11日 報告者：吉本 尚子

行事種別	講演会	行事番号	210000902	
開催日	令和3年6月19日(土)~7月2日(金)			
時間	開始	—	終了	—
場所	オンデマンド配信 (Web 録画)			
テーマ	がんゲノム			
生涯教育履修点数	専門教科 20 点 (レポート提出した会員にのみ付与)			
司会	藤田医科大学 ばんだね病院 川島 佳晃 愛知県がんセンター病院 吉野 聡			
講師	講演 1 : ゲノム医療・研究基盤としてのバイオバンクの現状について 藤田医科大学医療科学部 准教授 水谷 謙明 講演 2 : がんゲノム医療と病理検査 愛知県がんセンター病院 遺伝子病理診断部 部長 細田 和貴			
内容	「がんゲノム」をテーマとして講演会を企画し実施した。講演 1 では、「ゲノム医療・研究基盤としてのバイオバンクの現状について」と題し、臨床検査技師の立場からバイオバンクにおける病理組織検体の取扱いや核酸品質管理について講演していただいた。講演 2 では、「がんゲノム医療と病理検査」と題し、病理医の立場からゲノム診断について、基礎的な内容から応用までを講演していただいた。病理検体を対象とした体細胞遺伝子検査の増加、次世代シーケンサーを用いた遺伝子検査の臨床導入で、病理検査の取り巻く環境が変化している今、有益な情報を広く提供できたと考えられた。			
参加者	総数：150 名 (会員 150 名)			
共催、後援など	特になし			

## 愛臨技学術部研究班活動報告書

所属：病理細胞検査研究班 提出日：令和3年10月31日 報告者：吉本 尚子

行事種別	基礎講座	行事番号	210005570
開催日	令和3年9月25日(土)~10月8日(金)		
時間	開始	—	終了
場所	オンデマンド配信 (Web 録画)		
テーマ	乳癌の Up to date		
生涯教育履修点数	専門教科 20 点 (レポート提出した会員にのみ付与)		
司会	公立西知多総合病院 吉本 尚子 修文大学 橋本 克訓		
講師	<p>講演 1 : 乳腺の基礎と検体の取り扱いについて JA 愛知厚生連渥美病院 森 三希子</p> <p>講演 2 : 迅速標本作製の基本と薄切方法 西尾市民病院 中村 広基</p> <p>講演 3 : 乳腺細胞診と HER2FISH 解析について 堺市立総合医療センター臨床検査技術科 副技師長 佐々木 伸也</p> <p>講演 4 : 乳癌の臨床 公立西知多総合病院 乳腺外科部長 伊東 悠子</p>		
内容	<p>乳癌治療は分子標的薬の普及から、病理検体を対象とした遺伝子検査が増加し、病理検査を取り巻く環境が変化しているなかで、「乳癌の Up to date」と題して基礎講座を企画し実施した。、HER2FISH 検査の基礎から精度管理について解説します。講演 1・2 では、乳腺検体の取り扱いから迅速標本作製法について基礎的な内容から応用まで詳しく解説した。講演 3 では、「乳腺細胞診と HER2FISH 解析について」と題し、HER2FISH 検査の基礎から精度管理について講演していただいた。講演 4 では、「乳癌の臨床」と題し、乳腺外科医から最新の乳癌治療と検査について講演していただいた。参加者には有益な情報を広く提供できたと考えられた。</p>		
参加者	総数：159 名 (会員 159 名)		
共催、後援など	特になし		

## 愛臨技学術部研究班活動報告書

所属：病理細胞検査研究班 提出日：令和4年1月24日 報告者：吉本 尚子

行事種別	研究会	行事番号	210011296
開催日	令和3年12月18日(土)～31日(金)		
時間	開始	—	終了
場所	オンデマンド配信 (Web録画)		
テーマ	ROSE 等出張細胞診業務の運用、臨床検査技師教育内容の改正と臨地実習		
生涯教育履修点数	専門教科 20 点 (レポート提出した会員にのみ付与)		
司会	愛知医科大学病院 櫻井 包子		
講師	<p>講演 1 : ROSE の導入と取り組み～気管支鏡～ 小牧市民病院 藤田 智洋</p> <p>講演 2 : ROSE の導入と取り組み～消化器～ 日本赤十字社愛知医療センター名古屋第二病院 新田 憲司</p> <p>講演 3 : ROSE の導入と取り組み～消化器～ 安城更生病院 大島 康裕</p> <p>講演 4 : 臨床検査技師教育内容の改正と臨地実習のありかたについて 修文大学 橋本 克訓</p>		
内容	<p>「ROSE 等出張細胞診業務の運用、臨床検査技師教育内容の改正と臨地実習」をテーマとして勉強会を企画し実施した。講演 1・2・3 では、日常業務で行う ROSE 等出張細胞診業務について、演者の施設における導入の取り組みを紹介した。消化器 EUS-FNA 検査、気管支鏡検査の実例をあげ解説をした。講演 3 では、「臨床検査技師教育内容の改正と臨地実習のありかたについて」と題し、大学講師の演者より臨地実習のありかたについて、実際の現場における問題点を中心に講演していただいた。ROSE 等出張細胞診業務は施設によって実施の有無、方法 (染色・結果報告等) の違いがあり苦労しているという意見が多く、本研究会において有益な情報を広く提供できたと考えられた。</p>		
参加者	総数：92 名 (会員 92 名)		
共催、後援など	特になし		

## 愛臨技学術部研究班活動報告書

所属：病理細胞検査研究班 提出日：令和4年3月6日 報告者：吉本 尚子

行事種別	研究会	行事番号	210015391
開催日	令和4年2月5日(土)~18日(金)		
時 間	開 始	—	終 了
場 所	オンデマンド配信 (Web 録画)		
テーマ	令和3年度愛臨技精度管理報告、病理染色用溶剤の特性		
生涯教育履修点数	基礎教科 20 点 (レポート提出した会員にのみ付与)		
司 会	公立西知多総合病院 吉本 尚子		
講 師	<p>講 演 1 : 病理部門精度管理報告 総合大雄会病院 鈴木 健太郎</p> <p>講 演 2 : 細胞部門精度管理報告 名古屋大学医学部附属病院 原 稔晶</p> <p>講 演 3 : 染色用溶剤の特性からみた染色結果への影響 公立西知多総合病院 角屋 雅路</p>		
内 容	<p>「令和3年度愛臨技精度管理報告、病理染色用溶剤の特性」をテーマとして勉強会を企画し実施した。講演1・2では、令和3年度愛臨技精度管理報告をした。其々の分野のフォトサーベイ設問について詳細な解説をした。講演3では、「染色用溶剤の特性からみた染色結果への影響」と題し、ベテラン技師の演者より病理染色用溶剤の特性について講演していただいた。代替キシレンにおける詳細な検討で、各種溶剤を使用する際の注意点を確認できたという意見が多く、本研究会において有益な情報を広く提供できたと考えられた。</p>		
参加者	総数：124名 (会員124名)		
共催、後援など	特になし		